

平成22年3月期 決算概要と 今後の見通し、経営方針 について

(株)今仙電機製作所
代表取締役社長 増谷 修

東証1・名証1
証券コード 7266

www.imasen.co.jp

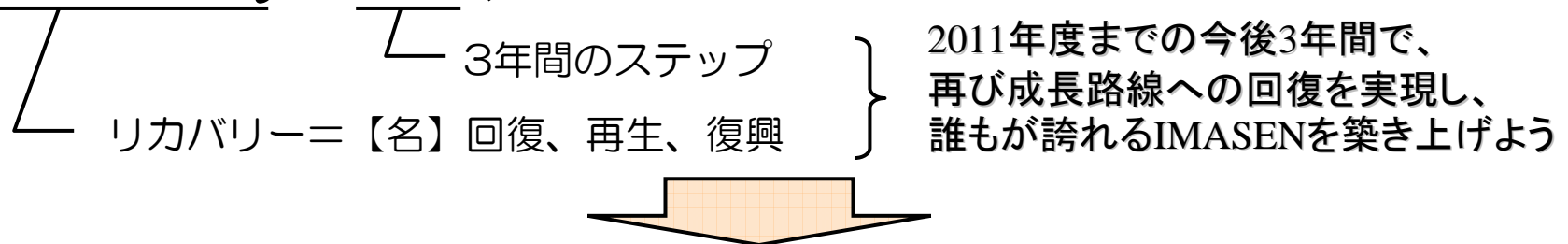
I . 平成22年3月期 決算概要

◆中期計画テーマ

Proud 2nd Stage

(Recovery 1-2-3)

＜新中期計画のねらい＞
激変する事業環境の変化への速やかな対応
再び成長路線を捉えるための先行投資



◆ Recovery 1-2-3 Vision -IMASENの事業ビジョン-

Step 1. スリム: 縮小した市場でも利益確保できる体制への絞込み

(単体売上高450億円でも黒字となるよう、固定費の圧縮を進める)

Step 2. シンプル: 生産体制、事業構成を最適化

(経営環境の変化を先取りし、柔軟に対応できる経営体制を構築する)

Step 3. スピード: 業務効率革新による高い生産性の実現

(全ての業務で既成概念にとらわれない改善を進め、最適化された事業を鍛え上げる)

◆中期計画テーマ

Proud 2nd Stage

(Recovery 1-2-3)

＜新中期計画のねらい＞
激変する事業環境の変化への速やかな対応
再び成長路線を捉えるための先行投資

リカバリー＝【名】回復、再生、復興
3年間のステップ

2011年度までの今後3年間で、
再び成長路線への回復を実現し、
誰もが誇れるIMASENを築き上げよう

◆ Recovery 1-2-3 Vision -IMASENの事業ビジョン-

2009年度活動目標

Step 1. スリム：縮小した市場でも利益確保できる体制への絞込み

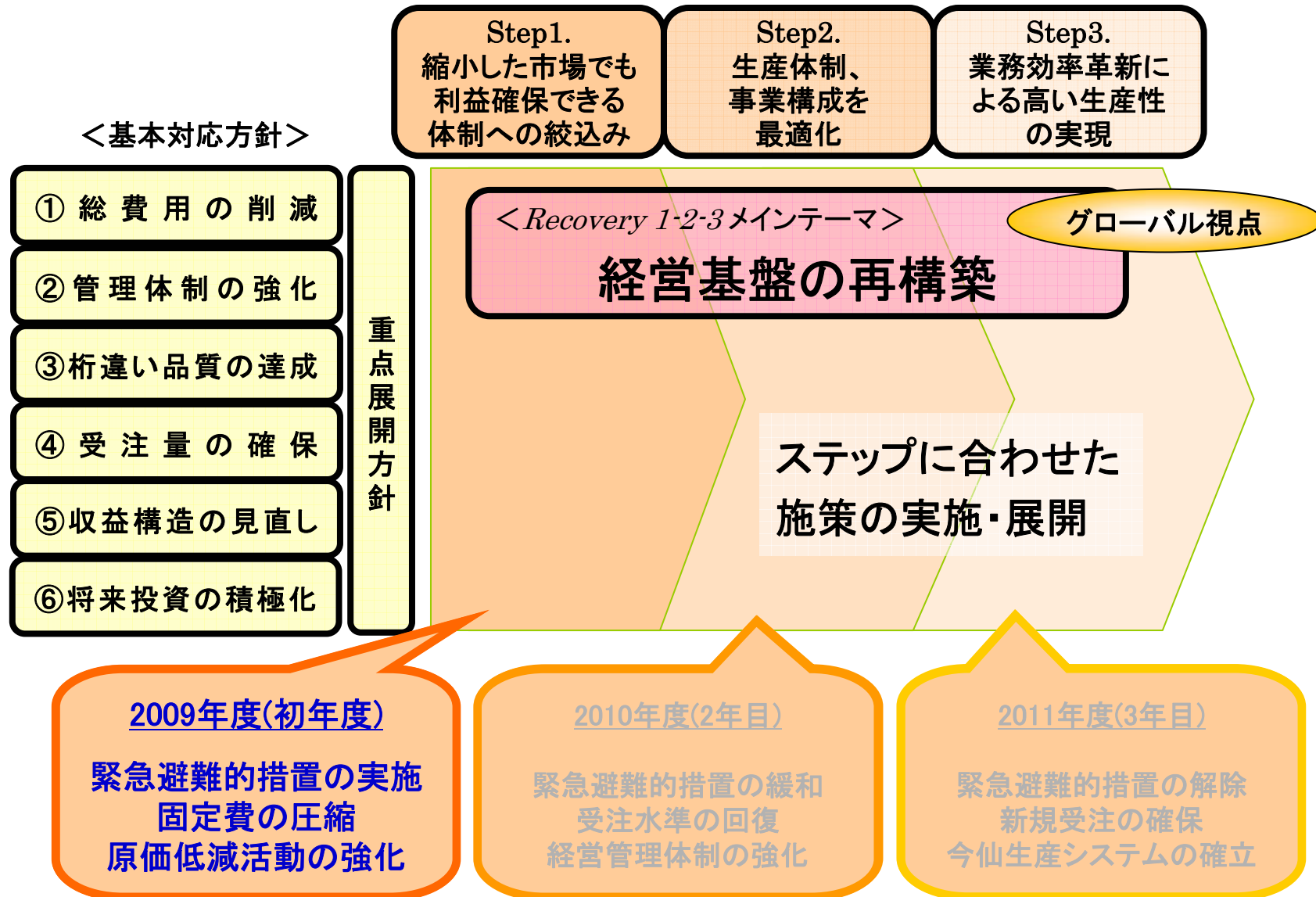
(単体売上高450億円でも黒字となるよう、固定費の圧縮を進める)

Step 2. シンプル：生産体制、事業構成を最適化

(経営環境の変化を先取りし、柔軟に対応できる経営体制を構築する)

Step 3. スピード：業務効率革新による高い生産性の実現

(全ての業務で既成概念にとらわれない改善を進め、最適化された事業を鍛え上げる)



百万円	前期実績 (H21年3月期)	当期実績 (H22年3月期)	前年同期比	
			前年同期比	増減 (%)
売上高	86,936	74,012	▲12,923	▲14.9%
営業利益	3,687	5,185	1,497	40.6%
経常利益	2,759	5,281	2,522	91.4%
当期純利益	1,505	3,064	1,558	103.5%
1株当たり 当期純利益	84.73円	173.74円	89.01円	105.0%

POINT

前期からの世界的な自動車減産の影響により
売上高が落ち込みましたが、原価低減活動に取り組み、
増益となりました

百万円	前期実績 (H21年3月期)	当期実績 H22年3月期	増減	
			前年同期比	増減 (%)
総資産	53,725	↑ 61,212	7,487	13.9%
純資産	26,001	↑ 29,600	3,599	13.8%
自己資本比率	46.7%	↑ 46.9%	—	—
1株当たり 純資産	1,423.63円	↑ 1,615.57円	191.94円	13.5%

POINT

売上高の回復、純利益の回復により、総資産、純資産がそれぞれ増加 健全な財務体質を維持しております

事業の種類別セグメント

百万円		自動車部品 関連事業	ワイヤーハーネス 関連事業	福祉機器 関連事業	自動車販売 関連事業
外部売上高	H22年3月期	▼ 69,994	▼ 1,961	▲ 1,121	▼ 936
	H21年3月期	81,615	3,173	1,008	1,138
	増減	▲ 11,621	▲ 1,212	112	▲ 202
営業利益	H22年3月期	▲ 5,056	▼ ▲ 14	▲ 138	▲ ▲ 15
	H21年3月期	3,346	247	103	▲ 27
	増減	1,710	▲ 261	35	12

POINT

自動車部品関連事業の利益改善が連結業績を支える
福祉機器関連事業は堅調に推移しました

事業の種類別セグメント:自動車部品関連事業



得意先系列別 売上高構成

百万円	前期実績 (H21年3月期)		当期実績 (H22年3月期)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	額	率
本田技研工業(株)	40,266	49.3%	34,195	48.8%	▲6,071	▲15.1%
日産自動車(株)	11,955	14.7%	13,417	19.2%	1,462	12.2%
三菱自動車工業(株)	12,844	15.7%	8,787	12.6%	▲4,056	▲31.6%
富士重工業(株)	4,361	5.3%	3,174	4.5%	▲1,186	▲27.2%
マツダ(株)	2,805	3.4%	2,947	4.2%	141	5.0%
ダイハツ工業(株)	1,018	1.3%	1,030	1.5%	12	1.2%
いすゞ自動車(株)	1,454	1.8%	900	1.3%	▲553	▲38.1%
その他	6,909	8.5%	5,540	7.9%	▲1,368	▲19.8%

POINT

- ホンダ系列向けは減少
- 日産系列向けは増加
- ・ 中国事業が回復に貢献
- ・ 中国事業が回復に貢献
- ・ 国内の輸出車種回復が貢献

事業の種類別セグメント:自動車部品関連事業



■製品別 売上高構成

百万円	前期実績 (H21年3月期)		当期実績 (H22年3月期)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	額	率
シートアジャスタ	68,552	84.0%	59,910	85.6%	▲8,641	▲12.6%
ウインドレギュレータ	402	0.5%	188	0.3%	▲213	▲53.2%
ランプ	6,135	7.5%	4,229	6.0%	▲1,905	▲31.1%
リレー	2,347	2.9%	2,621	3.7%	274	11.7%
ホーン	1,273	1.6%	1,048	1.5%	▲224	▲17.6%
その他	2,905	3.6%	1,995	2.9%	▲910	▲31.3%

POINT

- シートアジャスタの減少割合は改善に向かい、構成比は一層高まる
- リレーは電子ユニットの新規受注により増加

所在地別セグメント

百万円		国内	北米	アジア
外部売上高	H22年3月期	↘ 47,259	↘ 9,335	↘ 17,417
	H21年3月期	53,530	14,852	18,553
	増減	▲6,270	▲5,516	▲1,136
営業利益	H22年3月期	↗ 3,820	↘ ▲237	↘ 1,600
	H21年3月期	1,213	144	2,304
	増減	2,607	▲382	▲703

POINT

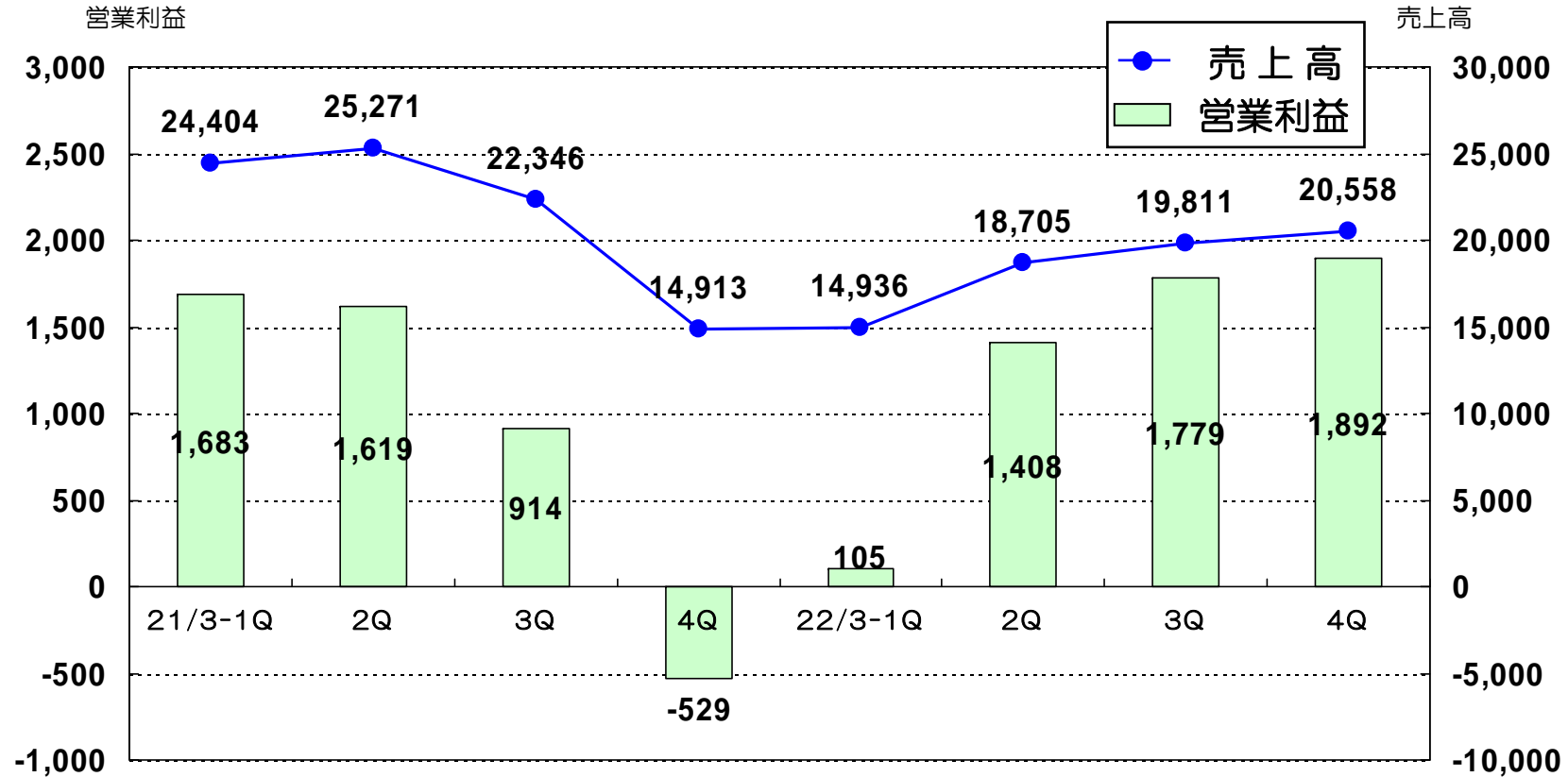
- 国内の原価低減が進み、減収の中、増益を確保
- アジアは、欧州向けを担当するタイが不振も、中国が好調を維持し、連結事業に占めるアジア事業の比重が高まる

四半期業績の推移



■連結売上高・営業利益の推移

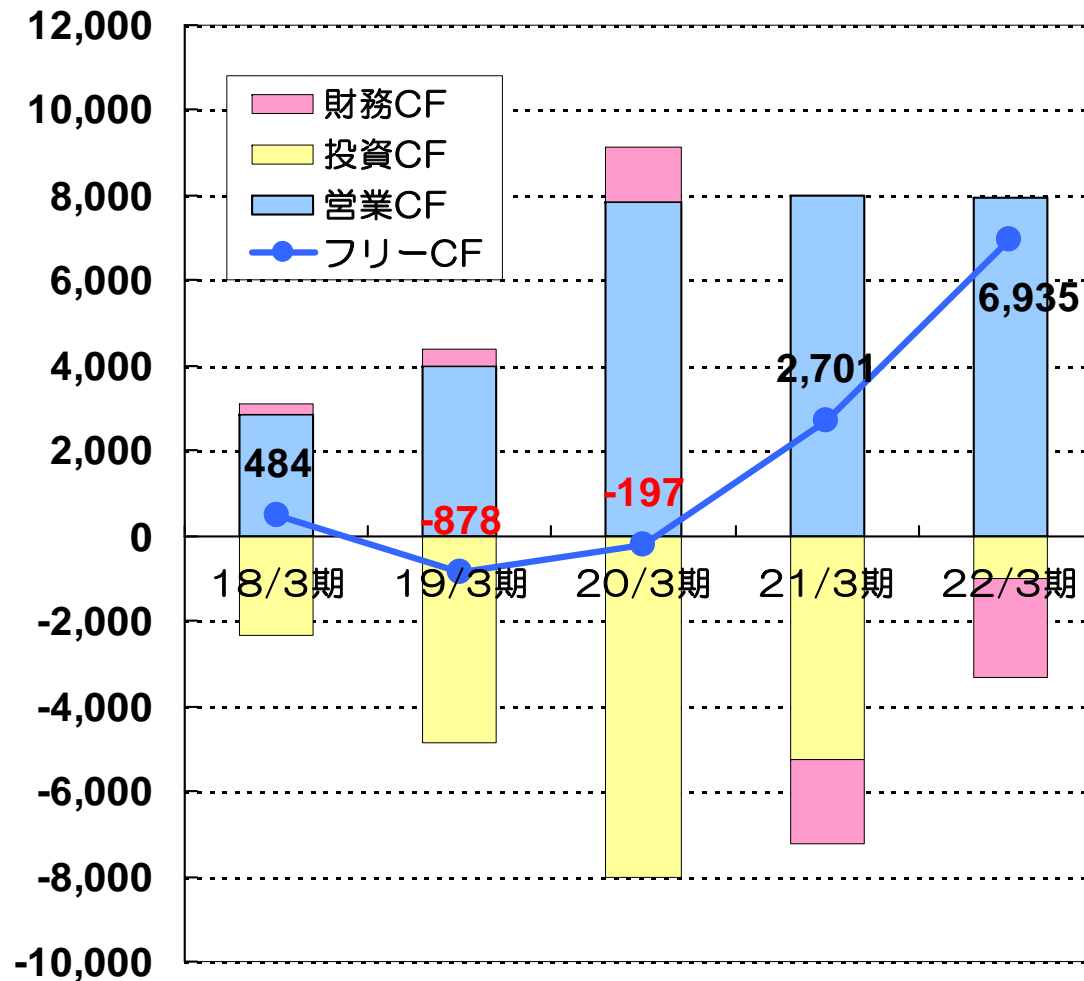
百万円



POINT

受注水準は前期ピークの8割強まで回復、利益水準も改善が進んでおります

キャッシュ・フロー



POINT

■フリーキャッシュフローは6,935百万円となり、投資の回収が進んでおります

■営業CFは、収益の改善により、前期並みの水準を維持

■投資CFは、徹底した設備投資の抑制により大幅に減少

■財務CFは、借入金の返済に充当